

原子分解能電子顕微鏡による金属ナノ粒子の原子配列と局所格子ひずみに関する研究

麻生, 浩平

<https://hdl.handle.net/2324/4060155>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	麻生 浩平			
論文名	原子分解能電子顕微鏡による金属ナノ粒子の原子配列と局所格子ひずみに関する研究			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	松村 晶
	副査	九州大学	教授	村上 恭和
	副査	九州大学	教授	山内 美穂
	副査	九州大学	准教授	佐藤 幸生

論文審査の結果の要旨

本研究で得られた成果は、金属ナノ粒子がその形状に依存して表面や粒子内部に局所格子ひずみが生ずることを、実験と理論の両面から初めて明らかにするとともに、レーザー光照射に伴う金ナノロッドの原子レベルの構造変化についての重要な知見を与えており、ナノ構造科学ならびに材料物性工学に寄与するところが大きい。よって、本論文は、博士(工学)の学位論文に値するものと認める。